

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公開番号】特開2010-44495(P2010-44495A)

【公開日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2008-206929(P2008-206929)

【国際特許分類】

G 06 F 17/28 (2006.01)

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 3/16 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/28 Z

G 06 F 17/30 3 4 0 A

G 06 F 3/16 3 4 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月3日(2011.8.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信先の装置に提示するための文を作成する情報処理装置であって、文を入力するための入力部と、

前記通信先の装置の状況情報を設定する状況設定部と、

前記情報処理装置内部の情報を出力する出力部と、

前記情報処理装置の動作を制御する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記状況情報に基づき前記通信先の装置の利用者の状況を判断する判断部と、

前記判断部の判断結果に基づいて、前記入力文を変更した文、または、前記入力文とは異なる新たな文を提示文として作成する作成部と、

前記出力部による前記提示文の出力を制御する出力制御部とを含む、情報処理装置。

【請求項2】

前記状況情報と挨拶文とを対応付けた挨拶文データを格納したデータ記憶部をさらに備え、

前記作成部は、前記判断結果および前記挨拶文データに基づいて、前記状況に応じた前記挨拶文を含む提示文を作成する、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記状況情報は、時間情報を含み、

前記挨拶文データは、時間帯と挨拶文とを対応付けたデータを含み、

前記判断部は、前記時間情報に基づいて、前記時間帯を判断し、

前記作成部は、前記判断結果および前記挨拶文データに基づいて、前記時間帯に応じた前記挨拶文を含む提示文を作成する、請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記状況情報は、場所情報を含み、

前記挨拶文データは、地域と挨拶文とを対応付けたデータを含み、

前記判断部は、前記場所情報に基づいて、前記地域を判断し、  
前記作成部は、前記判断結果および前記挨拶文データに基づいて、前記地域に応じた前記挨拶文を含む提示文を作成する、請求項2に記載の情報処理装置。

#### 【請求項5】

前記状況情報は、環境情報を含み、  
前記挨拶文データは、天候と挨拶文とを対応付けたデータを含み、  
前記判断部は、前記環境情報を基づいて、前記天候を判断し、  
前記作成部は、前記判断結果および前記挨拶文データに基づいて、前記天候に応じた前記挨拶文を含む提示文を作成する、請求項2に記載の情報処理装置。

#### 【請求項6】

前記作成部は、前記判断部が、前記通信先の装置の利用者が疲れていると判断した場合、前記入力文を要約モードにて翻訳する、請求項1から5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項7】

休憩場所の情報を含む地図情報を記憶した場所情報記憶部をさらに備え、  
前記状況設定部は、前記通信先の装置の場所情報を前記状況情報として設定し、  
前記作成部は、前記判断部が、前記通信先の装置の利用者が疲れていると判断した場合、前記場所情報および前記地図情報に基づいて、前記通信先の装置に前記休憩場所に誘導する情報を作成する、請求項1から6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項8】

前記出力制御部は、前記判断部が前記通信先の装置の利用者が忙しいと判断した場合に、前記提示文の出力を中止する、請求項1から7のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項9】

前記出力部は、  
前記情報を音声で出力する音声出力部と、  
前記情報を画像で出力する画像出力部とを含み、  
前記判断部は、前記状況情報に基づいて、前記通信先の装置の利用者が声が出せるかどうかを判断し、  
前記出力制御部は、前記通信先の装置の利用者が声を出せないと判断された場合、前記提示文を前記画像出力部に出力させる、請求項1から8のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項10】

前記出力部は、  
前記情報を音声で出力する音声出力部と、  
前記情報を画像で出力する画像出力部とを含み、  
前記判断部は、前記状況情報に基づいて、前記通信先の装置の利用者が前記提示文の文字を認識可能な言語かどうかを判断し、  
前記出力制御部は、前記通信先の装置の利用者が前記提示文の文字を認識できないと判断された場合、前記提示文の文字を認識可能な言語の文字に変更して前記画像出力部に出力させる、請求項1から8のいずれか1項に記載の情報処理装置。

#### 【請求項11】

情報処理装置を用いて通信先の装置に提示するための文を作成する情報処理方法であつて、

文を入力するステップと、  
前記通信先の装置の状況情報を設定するステップと、  
前記状況情報に基づいて、前記通信先の装置の利用者の状況を判断するステップと、  
前記通信先の装置の利用者の状況の判断結果に基づいて、入力文を変更した文、または、前記入力文とは異なる新たな文を提示文として作成するステップとを備える、情報処理方法。

#### 【請求項12】

通信先の装置に提示するための文を情報処理装置に作成させるための情報処理プログラムであって、

前記情報処理装置は、前記情報処理装置の動作を制御する制御部を含み、文を入力するステップと、

前記通信先の装置の状況情報を設定するステップと、

前記状況情報に基づいて、前記通信先の装置の利用者の状況を判断するステップと、

前記通信先の装置の利用者の状況の判断結果に基づいて、入力文を変更した文、または、前記入力文とは異なる新たな文を提示文として作成するステップとを前記制御部に実行させる、情報処理プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

1つの局面に係る本願発明は、通信先の装置に提示するための文を作成する情報処理装置であって、文を入力するための入力部と、通信先の装置の状況情報を設定する状況設定部と、情報処理装置内部の情報を出力する出力部と、情報処理装置の動作を制御する制御部とを備え、制御部は、状況情報に基づき通信先の装置の利用者の状況を判断する判断部と、判断部の判断結果に基づいて、入力文を変更した文、または、入力文とは異なる新たな文を提示文として作成する作成部と、出力部による提示文の出力を制御する出力制御部とを含む。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

好ましくは、情報処理装置は、状況情報と挨拶文とを対応付けた挨拶文データを格納したデータ記憶部をさらに備え、作成部は、判断結果および挨拶文データに基づいて、状況に応じた挨拶文を含む提示文を作成する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

好ましくは、作成部は、判断部が、通信先の装置の利用者が疲れていると判断した場合、入力文を要約モードにて翻訳する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

好ましくは、情報処理装置は、休憩場所の情報を含む地図情報を記憶した場所情報記憶部をさらに備え、状況設定部は、通信先の装置の場所情報を状況情報として設定し、作成部は、判断部が、通信先の装置の利用者が疲れていると判断した場合、場所情報および地図情報に基づいて、通信先の装置に休憩場所に誘導する情報を作成する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

好ましくは、出力制御部は、判断部が通信先の装置の利用者が忙しいと判断した場合に、提示文の出力を中止する。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

好ましくは、出力部は、情報を音声で出力する音声出力部と、情報を画像で出力する画像出力部とを含み、判断部は、状況情報に基づいて、通信先の装置の利用者が声が出せるかどうかを判断し、出力制御部は、通信先の装置の利用者が声を出せないと判断された場合、提示文を画像出力部に出力させる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

好ましくは、出力部は、情報を音声で出力する音声出力部と、情報を画像で出力する画像出力部とを含み、判断部は、状況情報に基づいて、通信先の装置の利用者が提示文の文

字を認識可能な言語かどうかを判断し、出力制御部は、通信先の装置の利用者が提示文の文字を認識できないと判断された場合、提示文の文字を認識可能な言語の文字に変更して画像出力部に出力させる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

他の局面に係る本願発明は、情報処理装置を用いて通信先の装置に提示するための文を作成する情報処理方法であって、文を入力するステップと、通信先の装置の状況情報を設定するステップと、状況情報に基づいて、通信先の装置の利用者の状況を判断するステップと、通信先の装置の利用者の状況の判断結果に基づいて、入力文を変更した文、または、入力文とは異なる新たな文を提示文として作成するステップとを備える。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

さらに他の局面に係る本願発明は、通信先の装置の利用者に提示するための文を情報処理装置に作成させるための情報処理プログラムであって、情報処理装置は、情報処理装置の動作を制御する制御部を含み、文を入力するステップと、通信先の装置の状況情報を設定するステップと、状況情報に基づいて、通信先の装置の利用者の状況を判断するステップと、通信先の装置の利用者の状況の判断結果に基づいて、入力文を変更した文、または、入力文とは異なる新たな文を提示文として作成するステップとを制御部に実行させる。